

Syllabus 2024



にちなん中国山地林業アカデミー

Contents



I 基本的事項	-----	p	2
---------	-------	---	---

II 科目一覧	-----	p	4
---------	-------	---	---

III 特記科目（再掲）	-----	p	6
--------------	-------	---	---

IV シラバス	-----	p	7
---------	-------	---	---

① 林業入門・教養	-----	p	7
-----------	-------	---	---

② 林学	-----	p	9
------	-------	---	---

③ 林業実務	-----	p	17
--------	-------	---	----

④ 実践林業	-----	p	20
--------	-------	---	----

⑤ 研究	-----	p	24
------	-------	---	----

⑥ 資格	-----	p	25
------	-------	---	----

⑦ インターン	-----	p	26
---------	-------	---	----

I 基本的事項

1.アカデミー設置の目的

本町及び近隣市町村等の豊かな森林資源を活用した林業、木材産業等の振興並びに林業の持続的かつ健全な発展を図るため、林業、木材産業等への就業者を育成するとともに、森林及び林業等に関する知識及び技術を習得する優れた人材を育成する施設として、林業アカデミーを設置する。

2.研修期間 1年

3.定 員 12人

4. 研修方針

①経験豊富な講師陣による林業技術指導、②各種研究機関・行政等との連携による専門知識の習得、③優良林業事業体での実践力の習得を基本方針とするカリキュラムを策定する。

また、林内における労働災害の発生率が、他産業に比べ非常に高いことから、安全講習、救急救命講習の充実も図るとともに、日南町森林組合、鳥取県、鳥取森林管理署などからなる「日南町立林業アカデミーサポートチーム」の協力による研修の質的充実を図り、日南町のみならず、県内外の市町村が求める人材を養成する。

5. 成績評価方法と成績評価基準

《成績評価方法》

(1) A 分類…林業入門・教養、林業実務、実践林業、研究

項目	評点	成績評価方法
授業の習熟度 及び理解度	60	授業への意欲、技術習得・理解度及び実習時の安全・改善意識を総合的に評価し、科目によっては、レポートの提出、プレゼンテーション、実技試験を実施する。なお、基準に満たない場合は、必要に応じ、補習等を実施し再評価する。
授業態度	20	授業への積極的な取り組み姿勢を高評価とし、授業の進行を止める行為や指導員の説明を聞かず迷惑な行動を起こすといった行為が認められた場合を減点対象とする。
出席日数	20	授業への出席率によって評価する。ただし75%以上出席しない場合は、不合格とする。

(2) B 分類…林学、インターン

・各外部講師による授業態度や実習への積極性などの評価を林業アカデミーの指導員が取りまとめ評価する。

(3) C 分類…資格

・資格の取得・不取得の結果で評価する。

《成績評估基準》

- ・ A、B 分類に関する科目の評定は、優、良、可、不可の 4 種類をもって表し、優、良、可を合格、不可を不合格とする。C 分類に関する科目の評定は、点数評価を行わず、資格取得を合格、資格不取得を不合格の判定とする。

優…100点～80点以上 良…80点未満～70点以上 可…70点未満～60点以上 不可…60点未満

《卒業の認定》

- ・ A、B 分類で不可の判定が 1 科目でもある者又は C 分類で 4 分の 1 以上の資格が取得できなかった者は卒業を認めない。
- ・ 年度内に追認試験を受けて、前項の条件をクリアできれば、卒業を認める。

6. 外部有識者委員会の設置

シラバス（授業計画）の策定にあたっては、学識経験者、他県の林業大学校等の講師、林業経営者、川下関係者などで構成する外部有識者委員会を開催し、その評価を受ける。

7. 研修計画

(1)年間計画 2024年 4 月9日(火)から2024年 3 月13日(木)まで

(2)研修日数及び時間 年間220日 1,320時間

- | | | | |
|--|---|-----|----|
| ① マーケットインによる林業経営を学ぶための製材工場や住宅メーカー等での研修 | … | 43 | 時間 |
| ② U A Vを用いた三次元データによる森林資源情報の取得・解析、GNSS・GIS等の高精度な森林情報による効率的な施業計画の作成・管理等、作業負担の軽減や施業の効率化に資する新たな技術を習得する研修 | … | 21 | 時間 |
| ③ コンテナ苗、低密度植栽及び一貫作業システムについて理解を深め、実践している現場で造林を効率化する技術を学ぶ研修 | … | 12 | 時間 |
| ④ 林業労働安全に関する研修 | … | 421 | 時間 |
| ⑤ 労働安全に資する最新装置を活用したチェーンソーによる伐木作業研修 | … | 20 | 時間 |
| ⑥ 地域の主な作業システムで用いる高性能林業機械に関する技術を習得する研修 | … | 84 | 時間 |

8. 時間割

	1時限	休憩	2時限	休憩	3時限	休憩
研修時間	8 : 3 0 ~	9:30~	9 : 4 0 ~	10:40~	1 0 : 5 0 ~	11:50~
	9 : 3 0	9:40	1 0 : 4 0	10:50	1 1 : 5 0	13:00
	4時限	休憩	5時限	休憩	6時限	
	1 3 : 0 0 ~	14:00~	1 4 : 1 0 ~	15:10~	1 5 : 2 0 ~	
	1 4 : 0 0	14:10	1 5 : 1 0	15:20	1 6 : 2 0	

II. 科目一覧

分類	科目名	講義名	時間	講師	場所	内容
林業社会人入門 60	林業入門 27	刈エンテーション、車運転	6	アカデミー 専任教員・ 日南町森林 組合ほか	校舎ほ か	研修内容・設備利用の説明、山道運転
		林業総論	6			林業の基礎知識の習得、法令解説
		林業視察	6			日南町の林業施業現場での説明と解説
		木材団地・苗木視察	6			木材団地・苗木生産の視察
		地図の見方	3			山林作業に必要な等高線地図の解説
	地域・社会 理解 33	社会人基礎	6	アカデミー 専任教員・ 鳥取労働局 ほか	校舎ほ か	社会人に必要な社会常識を身に着ける
		日南町内活動	18			地域住民と一緒に地域を知り活動する
		大山登山	6			大山登山での体力づくり、登山道補修
		社会問題	3			社会問題について話題提供後、議論する
林学 84	森林計 画学	森林計画学(座学)	6	米 康充 (島根大)	校舎・ 演習林 ほか	ドローン測量による3Dモデルやオルソ画像作成
		ICT林業(座学)	3			ドローン測量による資源量・境界確認等(森林現 況調査)
		ICT林業(実習)	3			
		ドローン測量(座学)	3			ドローン測量と3次元点群データ作成(オルソ写 真による施業成果の確認)
		ドローン測量(実習)	3			
	造林学	造林学基礎(座学)	3	高橋絵里奈 (島根大)	校舎・ 演習林	造林に必要な知識を習得する
		造林学実習:選木(実習)	3			人工林の密度管理方法の習得
		造林理論:吉野林業(座学)	3			造林理論と吉野林業の事例紹介
		造林学実習:毎木調査(実習)	3			毎木調査の方法と選木の基準理解
	森林生 態学	森林生態学基礎(座学実習)	3	鳥取大学	校舎・ 演習林 ほか	森林の生態的な特徴を理解する
		植生・樹木調査(実習)	3			植物や樹木の種類の判別方法
		森林環境実習(実習)	6			森林環境の保全と環境負荷を理解する
	森林土 壌学	森林土壌学基礎(座学)	6	山下多聞 (島根大)	校舎・ 演習林	森林土壌の特徴と適木を選定する
		土壌調査方法(実習)	6			土壌調査・分析の基礎
	林政学 (座学)	日本の森林林業山村政策	3	伊藤勝久 (島根大)	校舎	森林・林業・山村政策と経済の解説
		林業経済学基礎	3			林業の経済的な仕組みと近年の傾向
	木材利 用学	木材利用学基礎(座学)	3	桐林真人 (林試場)	製材工 場ほか	木材の種類・流通と特性格利用方法
		木材利用学基礎(実習)	3			木造建築・CLT製造工場視察・解説
	山林種 苗学	苗木生産と林業	3	池本省吾 (林試場)	採捕園 ほか	林業用苗木の基礎と現状
		苗木視察	3			苗木・母樹の説明と採穂体験
	山地災 害学	山地災害基礎	6	矢部 浩 (林試場)	校舎ほ か	山地災害の事例解説、治山基礎
		林道・作業道現地視察	6			法面が崩壊している林道現場視察
研究 73	林業ゼミ	インターン報告会	12	アカデミー 専任教員	校舎な ど	事業体での指摘事項の修正
		進路指導等	18			森林の仕事ガイダンスへの参加、面談
		森林・林業探求	43			学生主体の林業に関する探究の時間

分類	科目名	講義名	時間	講師	場所	内容
林業実務	林業労働安全 全 60	林業労働安全論	18	小菅良豪	校舎ほか	林業労働災害の現状と対策。VRゴーグル使用
		実習安全対策	30			実習の報告書を基に、安全作業の改善
		林業健康対策	12			熱中症蜂対策、生活リズムについて学ぶ
	林業経営 72	林業経営基礎	6	小菅良豪	校舎、作業現場	林業作業の収支やコストについて考える
		林業経営・作業計画	12			模擬会社にて作業計画とコスト計算する
		林業人講話	54			経営者・山主から施業について現場解説
	林業実務視察 72	林業機械展	12	林野庁森林管理署(鳥取,岡山,技セン)ほか	福井県	最新の林業機械を視察する
		木材流通	12		岡山県	原木市場で木材流通を学び記念市の視察
		地域木材産業	6			真庭の地域ぐるみの木材産業を視察する
		新しい林業の展開	24		国有林ほか	コンテナ苗、低密度植栽、列状間伐など
		獣害対策	12			獣害対策について座学と鹿柵設置実習の実施
		早生樹理解	6		育種場	早生樹、エリートツリーに関する視察
実践林業	林業基礎実習 66	山林作業基礎	6	アカデミー専任教員	演習林、町有林ほか	山の歩き方や、時間管理について学ぶ
		刈払機基礎	12			刈払い機の使用方法、作業手順を学ぶ
		チェーンソー基礎	12			チェーンソーの基本的な操作方法を学ぶ
		林業機械・整備基礎	30			シュミレーターによる機械操作練習など
		現場管理基礎	6			境界確認など作業に必要な方法を学ぶ
	造林・育林実習 189	地拵え、雪起こし	12	アカデミー専任教員	演習林、町有林ほか	雪解け後の作業について実習をする
		植え付け	18			活着しやすい丁寧な植栽方法の習得
		下刈り	57			刈払機の基本操作と夏の作業を体感する
		除伐	54			除伐作業の実践と不良木の選木
		枝打ち	42			2m枝打ち、梯子利用4m枝打ち
		造林現場管理	6			造林作業に必要な現場管理
	伐木・造材実習 195	チェーンソー伐倒	72	アカデミー専任教員	演習林ほか	安全なチェーンソー操作基礎
		林業機械操作	72			安全な高性能林業機械作業の基礎
		林業機械整備	21			高性能林業機械の構造把握と整備の実践
		作業道作設	18			作業道の理論と作設実習
		素材生産現場管理	12			市況比較、材積計算などを行う
	多様な林業実習 66	林業経営実習	39	アカデミー専任教員	演習林ほか	模擬会社として作業計画を立てて作業
		広葉樹施業、炭焼き	9			広葉樹の伐採から炭焼きを一貫作業する
		森林教育	18			森林教育の指導法を学び指導者として実践する
資格	資格	各種資格	155	CAT教習所		林業系各種資格の取得
インターン	インターンシップ	インターンシップ	228	林業事業体		林業現場体験第1期～第3期（実習）

計 1320 時間

※一部内容・講師の変更等が生じる場合があります。

Ⅲ 特記科目（再掲）

①マーケットインによる林業経営を学ぶための製材工場や住宅メーカー等での研修

分類	科目	講義名	時間	※必須時間
林業入門	林業入門	木材団地視察	6	-
林学	木材利用学	木材利用学基礎(座学・実習)	6	
林業実務	林業実務視察	地域木材利用	6	

②U A Vを用いた三次元データによる森林資源情報の取得・解析、GNSS・GIS等の高精度な森林情報による効率的な施業計画の作成・管理等、作業負担の軽減や施業の効率化に資する新たな技術を習得する研修

分類	科目	講義名	時間	※必須時間
林学	森林計画学	ICT林業	18	21
実践林業	伐木・造材実習	現場管理	6	

③コンテナ苗、低密度植栽及び一貫作業システムについて理解を深め、実践している現場で造林を効率化する技術を学ぶ研修

分類	科目	講義名	時間	※必須時間
林業入門	林業入門	コンテナ苗生産（苗木施設）視察	3	12
林業実務	林業実務視察	国有林一貫作業システム	6	
林業実務	林業実務視察	関西育種場視察	3	

④林業労働安全に関する基本的事項を学ぶ研修

分類	科目	講義名	時間	※必須時間
林業実務	林業労働安全論	労働安全衛生法の解説等	48	21
林業実務	林業実務視察	国有林一貫作業システム	6	
林業実務	林業実務視察	関西育種場視察	3	

⑤労働安全に資する最新装置を活用したチェーンソーによる伐木作業研修

分類	科目	講義名	時間	※必須時間
実践林業	林業基礎実習	チェーンソー基礎等	63	92
実践林業	伐木・造材実習	チェーンソー伐倒等	183	

⑥地域の主な作業システムで用いる高性能林業機械に関する以下の技術を習得する研修

分類	科目	講義名	時間	※必須時間
実践林業	伐木・造材実習	高性能林業機械操作等	72	23
林業実務	林業人講和	林業事業の現地での解説	54	

IV シラバス

科	目	林業入門・教養	林業入門
背景と目的		本格的な実習の前に、林業に対する必要な知識を、座学と現場での解説によって明確する。また、わが国の森林・林業の現状から作業内容まで一通り見聞し、仕事としての林業に対する理解を深めることを目的とする。	
科目内容		○ オリエンテーション（座学） ○ 林業入門(座学・実習) ○ 造林・林産現場視察 ○ 木材団地・LVL製造工場見学(座学・実習) ○ 日南町のコンテナ苗生産施設を視察	
講義内容		○ オリエンテーション（座学） 時 間 … 6 時間 内 容 … 研修内容・設備利用の説明 ○ 林業総論 時 間 … 6 時間 内 容 … 基礎的な林業の構造と知識を習得 ○ 造林・林産現場視察 時 間 … 6 時間 内 容 … 町内の施業現場での説明と解説 ○ 木材団地・苗木施設見学（座学2、実習4） 時 間 … 6 時間 内 容 … 木材流通・加工及び苗木施設の現地解説 ○ 等高線地図の見かた 時 間 … 3 時間 内 容 … 等高線地図を使って山を歩く	
到達目標		森林に関する知識を身に着け、仕事としての林業を理解できるようにする。	
評価方法と基準	A分類	出席日数、習熟度、授業態度などを通じ、総合的に評価	

科 目	林業入門・教養	地域社会理解
背 景 と 目 的	社会人として身につけるべき常識と社会問題にも理解することを目指す。林業の日南町を中心に地域の歴史や文化への理解を深める。地域活動に参加し、山村地域の一員になることの大切さ・生活を理解する。	
科 目 内 容	○ 地域活動(実習) ○ 社会問題(座学)	
講 義 内 容	○ 社会人基礎 内 容 … 社会人に必要な社会常識を身につける 時 間 … 6 時間 講師：ハローワーク職員ほか ○ 日南町地域活動・大山登山 内 容 … 町内めぐり、大山登山道補修、日南町林業祭など 時 間 … 24 時間 ○ 社会問題(座学) 内 容 … 社会問題について話題提供後、議論する 時 間 … 3 時間	
到 達 目 標	地域社会の理解と、地域の一員としての自覚を身につける	
評価方法と基準	A 分類	出席日数、習熟度、授業態度などを通じ、総合的に評価

科 目		林 学	森 林 学 造林学(実習含)	
背景と目的		林業に必要な森林に関する学問の基礎と最新情報を身に付け、科学的に裏付けされた、より良い林業を現場に持ち込む人材の育成を図る。		
科 目 内 容		○ 造林学基礎(座学) ○ 造林学実習Ⅰ 保育(実習) ○ 造林理論、事例：吉野林業(座学) ○ 造林学実習Ⅱ 毎木調査(実習) 		
講義内容		○ 造林学基礎(座学) 内 容 … 造林に必要な知識を習得する 時 間 … 3 時間 ○ 造林学実習Ⅰ 保育(実習) 内 容 … 人工林の密度管理方法の習得 時 間 … 3 時間 ○ 造林理論、事例：吉野林業(座学) 内 容 … 造林理論と吉野林業の事例紹介 時 間 … 3 時間 ○ 造林学実習Ⅱ 毎木調査(実習) 内 容 … 毎木調査の方法と選木の基準理解 時 間 … 3 時間 講 師 … 高橋絵里奈（島根大）		
到 達 目 標		森林学の基礎及び現場で生かせる知識を学ぶ		
評価方法と基準	B 分類	出席日数、習熟度、授業態度などを通じ、総合的に評価		

科 目		林 学	森 林 学 森林計画学
背景と目的		林業に必要な森林に関する学問の基礎と最新情報を身に付け、科学的に裏付けされた、より良い林業を現場に持ち込む人材の育成を図る。	
科 目 内 容		○ 森林計画学(座学) ○ I C T 林業(座学・実習) ○ ドローン測量(座学・実習) 	
講義内容		○ 森林系計画学（座学6時間） 内 容 … ドローン測量による 3 Dモデルやオルソ画像の作成 時 間 … 6 時間 ○ I C T 林業（座学3時間、実習3時間） 内 容 … ドローン測量による資源量・境界確認等 （森林現況調査） 時 間 … 6 時間 ○ ドローン測量（座学3時間、実習3時間） 内 容 … ドローン測量と 3次元点群データ作成 （オルソ写真による施業成果の確認） 時 間 … 6 時間 講 師 … 米 康充（島根大）	
到 達 目 標		森林学の基礎及び現場で生かせる知識を学ぶ	
評価方法と基準	B分類	出席日数、習熟度、授業態度などを通じ、総合的に評価	

科 目		森 林 学	
		森林生態学	
背景と目的		林業に必要な森林に関する学問の基礎と最新情報を身に着け、科学的に裏付けされた、より良い林業を現場に持ち込む人材の育成を図る。	
科 目 内 容		○ 森林生態学基礎・実習(座学・実習) ○ 植生・樹木調査(実習)	
講義内容		○ 森林生態学基礎・実習(座学・実習) 内 容 … 森林の生態的な特徴を理解する 時 間 … 6 時間 ○ 植生・樹木調査(実習) 内 容 … 植物や樹木の種類の判別方法 時 間 … 6 時間 講 師 … 永松 大 (鳥取大) 山中 啓介 (鳥取大)	
到達 目 標		森林学の基礎及び現場で生かせる知識を学ぶ	
評価方法と基準	B 分類	出席日数、習熟度、授業態度などを通じ、総合的に評価	

科 目		林 学	森 林 学 森林土壌学（実習含）
背景と目的		林業に必要な森林に関する学問の基礎と最新情報を身に着け、科学的に裏付けされた、より良い林業を現場に持ち込む人材の育成を図る。	
科 目 内 容		○ 森林土壌学基礎(座学) ○ 実習Ⅰ土壌調査方法(実習) ○ 実習Ⅱ環境林の土壌調査(実習) 	
講義内容		○ 森林土壌学基礎 内 容 … 森林土壌の特徴と適木を選定する 時 間 … 3 時間 ○ 実習Ⅰ土壌調査方法(実習) 内 容 … 土壌調査方法と林業への応用 時 間 … 6 時間 ○ 実習Ⅱ環境林の土壌調査(実習) 内 容 … 環境林における土壌調査・分析 時 間 … 3 時間 講 師 … 山下多聞（島根大）	
到 達 目 標		森林学の基礎及び現場で生かせる知識を学ぶ	
評価方法と基準	B 分類	出席日数、習熟度、授業態度などを通じ、総合的に評価	

科 目	林 学	森 林 学 林 政 学
背景と目的	林業に必要な森林に関する学問の基礎と最新情報を身に付け、科学的に裏付けされた、より良い林業を現場に持ち込む人材の育成を図る。	
科 目 内 容	○ 日本の森林・林業・山村政策(座学) ○ 林業経済学基礎(座学)	
講義内容	○ 日本の森林・林業・山村政策(座学) 内 容 … 森林・林業・山村政策と経済の解説 時 間 … 3 時間 ○ 林業経済学基礎(座学) 内 容 … 林業の経済的な仕組みと近年の傾向 時 間 … 3 時間 講 師 … 伊藤勝久（島根大）	
到 達 目 標	森林学の基礎及び現場で生かせる知識を学ぶ	
評価方法と基準	B 分類	出席日数、習熟度、授業態度などを通じ、総合的に評価



科 目		森 林 学
		木材利用学
背景と目的	林業に必要な森林に関する学問の基礎と最新情報を身に着け、科学的に裏付けされた、より良い林業を現場に持ち込む人材の育成を図る。	
科 目 内 容	○ 木材利用学基礎(座学) ○ 木材利用学基礎(実習) 	
講義内容	○ 木材利用学基礎（座学2時間、実習4時間） 内 容 … 木材の種類・流通と特性格利用方法 時 間 … 6 時間 ※ 古民家の木の使い方、CLT工場視察 講 師 … 桐林真人（林試場） 	
到 達 目 標	森林学の基礎及び現場で生かせる知識を学ぶ	
評価方法と基準	B 分類	出席日数、習熟度、授業態度などを通じ、総合的に評価

科 目	林 学	森 林 学 種苗学
背景と目的	林業に必要な森林に関する学問の基礎と最新情報を身に付け、科学的に裏付けされた、より良い林業を現場に持ち込む人材の育成を図る。	
科 目 内 容	○ 種苗学（座学） ○ 苗木生産現場視察	
講義内容	○ 種苗学（座学） 内 容 … 林業用苗木の基本的な種類用の解説 時 間 … 3 時間 ○ 苗木生産現場視察 内 容 … 苗木生産農業者訪問 時 間 … 3 時間 講 師 … 池本省吾（林試場）	
到 達 目 標	森林学の基礎及び現場で生かせる知識を学ぶ	
評価方法と基準	B 分類	出席日数、習熟度、授業態度などを通じ、総合的に評価

科 目	林 学	森 林 学 山地災害論
背景と目的	林業に必要な森林に関する学問の基礎と最新情報を身に付け、科学的に裏付けされた、より良い林業を現場に持ち込む人材の育成を図る。	
科目内容	○ 林業における山地災害の解説（座学） ○ 現場にて、作業道の法面崩壊要因の解説	
講義内容	○ 山地災害学の基礎 内 容 … 山地災害事例の解説 時 間 … 6 時間 ○ 現場における解説 内 容 … 作業道の法面崩壊現場においての要因解説 時 間 … 6 時間 講 師 … 矢部浩（林試場）	
到達目標	森林学の基礎及び現場で生かせる知識を学ぶ	
評価方法と基準	B 分類	出席日数、習熟度、授業態度などを通じ、総合的に評価

科 目	林業実務	林業労働安全
背景と目的	林業の労働災害は、いまだに他産業に比べ10倍以上の高水準のままで推移している。作業ごとの労働安全に関する事前学習と日々の林業実習でのヒヤリハット報告を基に安全な林業を目指す。	
科 目 内 容	○ 労働安全衛生法の解説(座学) ○ 労働災害事例研究(座学) ○ リスクアセスメント(座学) ○ けが・熱中症の予防と蜂対策(座学) ○ 日常の安全対策：日報と改善(座学)	
講義内容	○ 労働安全衛生法の解説、災害事例、災害予防 - 内 容 … 法令解説と安全管理の基本 - 時 間 … 18 時間 ○ 実習安全対策 - 内 容 … 実習の作業日報を基にした安全作業の予防と改善 - 時 間 … 30 時間 ○ 林業健康対策：けが・熱中症の予防と蜂対策(座学) - 内 容 … 腰痛・熱中症・蜂の予防と対策 - 時 間 … 12 時間 講 師 … 小菅良豪	
到 達 目 標	日常的に安全を意識した質の高い作業員を目指す	
評価方法と基準	A 分類	出席日数、習熟度、授業態度などを通じ、総合的に評価



科 目	林業実務	林業経営
背景と目的	林業労働者は、未だに収入の低い状態である。一方で儲かる林業を 実践し、作業員の収入も他産業以上の事業体もある。優良林業事業体 の事例から共通項を見出し、林業の収益性の向上の条件を理解する。 最後に、模擬会社で林業経営絵を経験する。	
科目内容	○ 林業経営者による林業経営解説（座学・実習） ○ 林業経営者の目線で、林業を計画・施業管理・作業する ○ 優良事業体への現場で各事業体の経営・施業の違いを学ぶ	
講義内容	○ 林業経営基礎 内 容 … 林業事業体の経営の考え方と儲かる仕組みの解説 時 間 … 6時間（座学3、実習3） 講 師 … 杉光太郎（杉産業） ○ 林業経営・作業計画 内 容 … 模擬会社にて作業計画、安全管理、コスト計算 時 間 … 12時間 講 師 … 小菅良豪 ○ 林業人講話 内 容 … 林業経営者に現場で施業方法、経営について学ぶ 時 間 … 54時間 講 師 … 林業事業体経営者 訪問先（予定） 町内林業事業体、板坂林業 八頭中央森林組合ほか	
到達目標	林業事業体の構造と仕組みを理解し、林業経営により収益性をあげる 為に必要な事について理解する。	
評価方法と基準	A 分類	出席日数、習熟度、授業態度などを通じ、総合的に評価



科 目	実践林業	林業基礎実習
背景と目的	林業の正しい安全かつ技術を身に着ける。またチェーンソーから高性能林業機械まで、始業前点検及び整備方法を身につける。	
科目内容	○ 山林作業基礎（座学・実習） ○ 刈払機基礎(座学・実習) ○ チェーンソー基礎(座学・実習) ○ 林業機械操作基礎(座学・実習)	
講義内容	○ 山林作業基礎 時 間 … 6 時間 内 容 … 林業作業における準備など基本事項 ○ 刈払機基礎(座学・実習) 時 間 … 12 時間 内 容 … 安全な刈払機操作基礎 ○ チェーンソー基礎(座学・実習) 時 間 … 12 時間 内 容 … 安全なチェーンソー操作基礎 ○ 林業機械操作基礎(座学・実習) 時間 … 30 時間 内 容 … 安全な高性能林業機械作業の基礎 ○ 現場管理実習基礎 時 間 … 6 時間 内 容 … 林業における現場管理の基礎 講師 … アカデミー講師、レンタルのニッケンほか	
到達目標	林業の安全な基本作業を身に着け、使用機械を大事に使う意識を身につける	
評価方法と基準	A 分類 出席日数、習熟度、授業態度などを通じ、総合的に評価	

科 目	実践林業	伐木・造材実習
背景と目的	伐木・造材の作業の意味を理解し、正しい作業方法を身につける。	
科目内容	○ チェーンソー伐倒（実習） ○ 高性能林業機械操作（実習） ○ 素材生産現場管理（座学・実習） ○ 作業道作設(実習) ○ 高性能林業機械メンテナンス	
講義内容	○ チェーンソー伐倒（実習） 内 容 … 選木方法と安全な抜倒方法 時間 … 72 時間 ○ 高性能林業機械操作（実習） 内 容 … グラップル集材等による木寄せ作業 時間 … 72 時間 ○ 林業機械整備 内 容 … 林業機械の日常点検等の実践 時間 … 21 時間 ○ 作業道作設(実習) 内 容 … ルート設計・管理の理論から壊れにくい作業道作設 時間 … 18 時間 ○ 素材生産現場管理実習 内 容 … 施業前踏査、ドローンによる測量、作業道管理等 時間 … 12 時間 講 師 … アカデミー講師	
到達目標	伐木・造材に関する作業の方法と意味を理解する	
評価方法と基準	A 分類	出席日数、習熟度、授業態度などを通じ、総合的に評価



科 目	実践林業	多様な林業実習
背景と目的	人工林の木材生産以外の林産業について実習する。将来の林業人に必要な森林教育の指導者としての知識を身に着ける	
科目内容	○ 広葉樹・利用実習 ○ 林業経営作業(実習) ○ 森林教育 	
講義内容	○ 林業経営実習 内 容 … 広葉樹の伐倒集材など 時 間 … 39 時間 ○ 特用林産(座学・実習) 内 容 … 広葉樹伐採キノコの植菌、栽培 時 間 … 9 時間 ○ 森林教育（実習） 内 容 … 森林を伝える力と安全確保の実践方法など 時 間 … 18 講 師 … アカデミー講師 	
到達目標	林産物の意義を理解し、林業との複合生産の優位性を理解する。森林教育で、森林についての伝達力を身に着ける。	
評価方法と基準	A 分類	出席日数、習熟度、授業態度などを通じ、総合的に評価

科 目	研 究	林業ゼミ
背景と目的	林業に関する疑問や調べたいことについて、学生が主体的に調査を行い、林業に関する興味を持たせる。また進路相談も行う。伐木チャンピオンシップの練習も行う。	
科目内容	○ テーマ別演習、進路指導など(座学) ○ インターンシップ報告会	
講義内容	○ テーマ別演習、進路指導など(座学) 内 容 … インターンシップ報告会 時 間 … 12 時間 ○ 進路指導、就職ガイダンス 内 容 … テーマ別指導と進路相談 時 間 … 18 時間 ○ 森林・林業探求 内 容 … 興味のある分野の探求 時 間 … 43 時間 講 師 … アカデミー講師	
到達目標	林業について深く考える事。林業事業体への就職サポート。	
評価方法と基準	A 分類	出席日数、習熟度、授業態度などを通じ、総合的に評価



科 目	資 格	各種資格 各種資格
背景と目的	森林施業には欠かせない資格を取得する。	
科目内容	○ 林業系各種資格の取得	
講義内容	○ 車両系建設機械（整地等）運転技能講習 ○ 不整地運搬車運転技能講習 ○ 小型移動式クレーン運転技能講習 ○ 玉掛け技能講習 ○ フォークリフト運転技能講習 ○ 小型車両系建設機械運転特別教育 ○ 伐木等の業務従事者に係る特別教育 ○ 伐木等機械の運転の業務に係る特別教育 ○ 走行集材機械の運転の業務に係る特別教育 ○ 簡易架線集材装置の運転業務に係る特別教育 ○ 刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育 内容 … 林業系各種資格の取得 時間 … 155 時間 講師 … キャタピラー教習所ほか 	
到達目標	林業に必要な資格を取得する	
評価方法と基準	C 分類	資格取得

科 目	インターン	インターンシップ
背景と目的	林業事業体の現場で、現役の人たちと一緒に働くことで実習との違いを感じ、現場で必要な林業技術について再認識する。また自分に合った林業事業体を選ぶ参考にする。	
科 目 内 容	○ インターンシップ第1期(実習) ○ インターンシップ第2期(実習) ○ インターンシップ第3期(実習)	
講義内容	○ インターンシップ第1期(実習) 内 容 … 林業現場体験① 時 間 … 84 時間 ○ インターンシップ第2期(実習) 内 容 … 林業現場体験② 時 間 … 90 時間 ○ インターンシップ第3期(実習) 内 容 … 林業現場体験③ 時 間 … 54 時間 講 師 … 日南町森林組合ほか	
到 達 目 標	林業事業体での実際の仕事で、見つかった課題を克服する。自分に合った就業先を見つける	
評価方法と基準	B 分類	出席日数、インターンシップ報告書・レポートなどを通じ、総合的に評価

